

こんにちは婦人会「さくら」です

2月も中旬になりました。寒さで着物をさらに重ねて着ることから「着更着」と言われるようですが、何枚着る物を重ねても今年はとにかく寒い
です。そんな寒さの中、寂しかった我が家の庭に水仙が咲いてくれました。待ち遠しい春はもうそこまで来ているはず・・・三寒四温で不安定な季節です。ご自愛くださいね。

～婦人会・暮らしのエッセンス～

春の訪れを一番に知らせてくれる梅の花。今年の寒さで軒並み開花が遅れているようです。ならば一足先に春を感じに出かけてみませんか。知っているようで



知らない梅のあれこれ。梅は、約1500年前に中国から伝来したと言われて
います。「うつくしく、メずらしい」木というのがウメの語源だとか。数百種類もの品種があり、色も花姿もさまざま、実はかなり奥が深い樹木
のようです。梅と言え、花びらは5枚と
思っていないませんか？一重の花びらは5～6枚。でも八重と呼ばれてバラや牡丹のように花びらが多い梅もあるようで、多いものでは花一輪でなんと35枚という品種も。花びらが多く見た目が派手な梅は、楊貴妃・八重揚げ羽・黄金鶴・緋の袴など、名前もゴージャス。対して一重の花は白玉・月影・雪月花など名前も清楚です。また、茶筌梅という風変わりな名前の梅も。



お茶を点てる時に使う茶筌のようにおしべが花びらから筒状に長く飛び出している珍種もあるようです。どんな梅かを想像すると楽しいですよ。（インターネットより引用）

さて、この梅の名前は？

桜台婦人会「さくら」
平成24年2月24日
第121号